

町議会新議長・新副議長就任

5月14日に臨時会が開かれ、新議長に藤原充博議員、新副議長に内田精彦議員がそれぞれ選出されました。

議長就任あいさつ

この度、議会議長の重責を担うことになりました。奥出雲町では、地方創生、人口減少、地域振興、教育・福祉など様々な課題を抱えております。



藤原充博新議長

町民の皆様にご身近で開かれた議会として、皆様方のお知恵をお借りしながら、これから山積する課題解決に向けて頑張りたいと思っております。皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ

この度、副議長の重責を担う事になりました。人口減少、特に少子高齢化が進む中での、小中学校の再編等諸問題が山積している奥出雲町であります。町民の声を行政に届け、町民の皆様から信頼される議会運営を目指してまいります。



内田精彦新副議長

フランスケーブルテレビが奥出雲町取材しました



▲可部屋集成館で茶道を撮影

日本を中心とするアジアのポップカルチャーを専門に扱うフランスケーブルテレビ局取材班の2名が鳥根県松江市、隠岐、雲南地域で撮影を行いました。奥出雲町へは5月23日～24日に訪れ、絲原記念館やそろばんと工芸の館など奥出雲町の歴史・文化と自然を撮影されました。また、施設の方へのインタビューでは、「茶道でお菓子を先に食べるのはなぜ」等の質問が次々と飛び交っていました。取材班の方は「奥出雲町はとても穏やかで、自然が美しく、人もフレンドリーですね」と感想を話されていました。

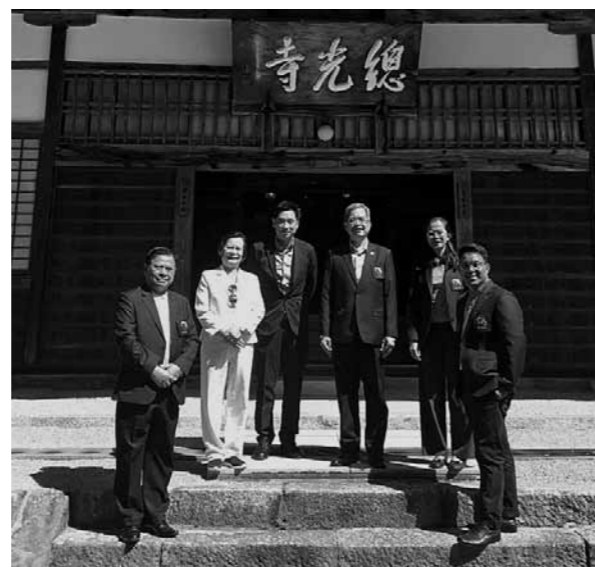
春の叙勲

瑞宝小綬章
井上 勝博さん



井上勝博さんは、昭和48年に鳥根県庁に入庁、鳥根県立美術館副館長、鳥根県教育委員会教育次長、中山間地域研究センター所長、鳥根県環境生活部長、鳥根県理事、公立大学法人鳥根県立大学副理事長などの要職を歴任されました。また、平成21年から約5年間奥出雲町長を務められ、その間、「定住・子育て支援」「神話とたたら・伝統の振興」「防災・災害対策」などをはじめとし、町の発展に多大な貢献をされました。

リハビリ学生の学術交流へ向けて タイの大学関係者が視察のため来日



▲ロイエット副市長(左から3人目)と大学関係者の皆様

鳥根リハビリテーション学院は、国際的視野に立った豊かな教養を備えた人材育成のため、旧横田町がそろばん交流を行っていたタイ王国ロイエットラチャパット大学と昨年度、学術交流協定を締結しました。

5月27日から3日間、ロイエット副市長をはじめ大学関係者が7名来町され、学院見学や医療施設の視察、町内観光を行いました。

今後は、双方の文化交流から始め、学生の派遣・受入れを行う計画です。「学院にとって、初めての国際交流。学生が国際感覚を養う場として、この繋がりを大切にしたい」と鳥根リハビリテーション学院担当者は今後の抱負を語られました。



要害山山城祭

▲飯島町の方ははっぴを着て参加されました。飯島町は中央アルプスと南アルプスが遠望できる美しい景観の町です。

◆今年は、長野県飯島町から下平町長をはじめ23名が参加されました。奥出雲町と飯島町の繋がりは？

三沢小学校児童や三沢幼稚園児たちが手作りの甲冑を身にまとい、みぎわの館から山頂まで、ほら貝や太鼓の音を響かせながら武者行列を披露しました。山頂では、児童による出陣式「三献の儀」が行われ、続いて、山開き神事が執り行われました。

◆山城祭とは？
武将三沢氏が三沢城を築城し、その後領民と協力して「野たたら製鉄」により農地の開拓と民生をはかり、領内を280年余にわたり平穏無事に守り抜いた栄華を偲んで、そして、登山者の安全と地域の発展を祈願するお祭りです。

山城祭後は、みぎわの館で交流会が開かれました。とんぼの会の皆さんの手作り料理や蕎麦打ち同好会が打った出雲そばが振る舞われました。奥出雲町と同じくそば処である飯島町からはいいじま手打ち蕎麦の会のメンバーも来町され、「出雲蕎麦はコシがあつておいしい」と堪能されました。そして、飯島氏により繋がった両町の関係を「親戚のような存在」と述べられました。和やかな交流会となりました。



下平飯島町長

三沢城を築城した三沢氏の祖である飯島氏の発祥の地が長野県飯島町です。承久の乱に幕府方として活躍し、雲州三沢郷を恩賞として受領しました。飯島町との交流は平成14年には始まり、飯島町の皆様の来町は今回で4回目となりました。

高橋美奈さんを教育委員に任命



高橋美奈教育委員

松原律子委員の任期満了に伴い、5月25日付けで高橋美奈さん(横田)が新たに教育委員に就任されました。「保護者、町民として奥出雲町の教育に関わっていききたいです」と意気込みを話されました。任期は4年間です。よろしくお祈りします。

鳥根県西部地震 大田市から被害認定調査員派遣の感謝状贈呈



(左)勝田町長(右)大田市 水田雄二 総務部長

平成30年4月9日に大田市東部で震度5強の地震が発生し、家屋、道路、公共施設など多くの被害がありました。奥出雲町からも家屋の被害認定調査員として4名の職員を派遣し、各市町村からの職員と共に家屋3,673件の被害状況を調査しました。5月9日、役場仁多庁舎にて職員派遣に対し、大田市から感謝状が贈呈されました。